

小・中学校と地域の交流を紹介

# みたねの学校

美占凝視

## 生活習慣の見直し

### 山本地区4校の取組

今年度、山本地区の小中学校4校は文部科学省及び秋田県教育委員会の委嘱を受け、望ましい生活習慣の定着を目指して、学校と家庭、地域全体での取組を推進してきました。そこで、4校の特色ある取組(○)と主な成果(◎)を紹介します。

#### 【下岩川小学校】

◎健康委員会による健康集会を実施。児童が考えた睡眠に関するクイズをもとに睡眠の大切さについて考える機会となった。

◎保護者も参加して「ネット社会に生きる」をテーマにSNS研修会を実施。メディアアカウントの必要性を考える機会となった。

◎児童は自分で考え工夫して睡眠時間を確保することを意識できるようにしてきた。



◎生活情報や中学校から寄贈された「元気カルタ」を保健室前に掲示した。

◎学校保健委員会で保健委員と

#### 【森岳小学校】



◎睡眠をテーマに保健便りや資料を掲示したりした。

◎自立プランに関する標語を募集し、小学生に遊んでもらうために

#### 【金岡小学校】

◎毎月の全校朝会で健康指導部が月目標に合わせてミニ保健指導を行った。

◎12月に保健委員会が自立プランの中から生活リズムクイズを出し希望する児童が参加した。

◎生活習慣への関心が次第に高くなり、望ましい睡眠をとるために各家庭で様々な工夫をしていることがわかった。



◎睡眠をテーマに保健便りや資料を掲示したりした。

◎自立プランに関する標語を募集し、小学生に遊んでもらうために

◎睡眠をテーマに保健便りや資料を掲示したりした。

◎自立プランに関する標語を募集し、小学生に遊んでもらうために

第11号  
— 発行者 —  
三種町教育委員会  
教育活動推進員  
渡邊 清彦

「元気カルタ」を作成し、3小学校に寄贈した。◎家庭での学習時間が確実に増えた。家庭学習の充実のために睡眠時間の確保が大切であることに気付いてきている。

#### 【4校共通実践事項】

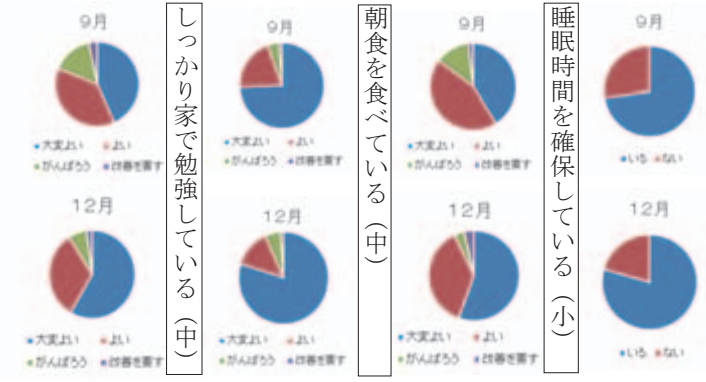
◎三種の子「自立プラン」を活用し自分のルールを確立

◎振り返りシートで定期的に自己評価

◎町内共通の「けんこうカレンダー」(小)と「ヘルシーチェックカード」(中)の活用

【自己評価の推移】一部抜粋  
(小・小学校 中・中学校)

自立プランは目立つ所に貼られている(小)



#### 園児がおもてなし

先月16日、八竜幼稚園(見上吉也園長)で通算17回目となる新春お茶会が開催され、園児が保護者や



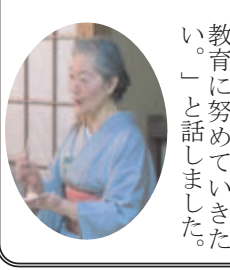
地域住民をおもてなしました。講師は茶道裏千家成川宗憲氏が務めました。本日の茶花や飾り物、お菓子の説明の後に、園児が出たお菓子やお茶席者にお菓子やお茶を運びました。口上も礼儀正しく、また運ぶときの足運びも伝統に従い見事なものでした。出席者の後には園児も、去年6月の陶芸教室で作った茶碗で礼儀正しくいただきました。来賓として出席した湖北小の斎藤校長は「お茶会を経験してきた園児は入学して落ち着きがあり言葉遣いも丁寧です。本校でも伝統文化のお茶会を通して心の教育に努めていきたい。」と話しました。

#### 地域に感謝の気持ちを

冬休み中の11日、八竜中学校で全校生徒による奉仕作業が行われ、各地区ごとに雪かきや清掃活動に取り組みました。雪が少なかつたのでごみ拾いが行い少なかった。主に小枝でしたが熱心に作業を行いました。清水爽音さん(1年)は「あまりごみがなかったのが、地域の人がかきれいにしていることがわかった。」檜森綺星さん(1年)は「地域の方も作業をしてくれてありがたかったです。」と話しました。



#### 新春お茶会



#### 編集後記

「5年間、地域の公民館をきれいにすることができてよかった。」阿部浩太朗さん(3年)は「今回思ったよりゴミが少なかつた。ここは日本海中部地震の年に出た古い建物なので、手入れをしてきれいにしていきたい。」と感想を話しました。

今月号で紹介した生活習慣見直しの取組では、山本地区4小学校の養護教諭が中心となつて実践に取り組んできました。子どもたちだけでなく家族の皆さんの健康意識も高まったことは大きな成果でした。実り多い取組にお疲れ様でした。

※先月号のコントリビューターの記事で備蓄を貯蔵に訂正いたします。

